

北海道 新産廃

発行所 北海道産廃新聞社
〒005-0803 札幌市南区川沿3条5丁目9-12
電話 090-2871-4148 FAX 011-572-8400
購読料 月額2000円(年間24000円)
振替口座 北洋銀行北24条支店(普) 364-0485
道銀北24条支店(普) 163-078666

太陽光発電システムリサイクル 17年度実用化へ研究施設完成

再生可能エネルギーとして注目される太陽光発電に使うパネルの需要が急激に増えているが、廃棄処分された太陽光発電システムのリサイクル研究開発施設が北九州市に2月に完成した。将来的な廃棄量の増加に備え、技術検証などを通じて17年度の実用化を目指している。

石油の子会社、ソーラーフロンティアは宮崎県で太陽光パネルを製造している。太陽光パネルからアルミ枠などをはがした後、約500度の高温で燃焼させ、樹脂などの燃えかすの中から金や銀、ガラスを取り出して再利用する。研究開発施設は専用装置を使い自動で一貫処理する。

帯広 自然エネルギー事業に活路

ティール・ワイのメガソーラー順調に稼働

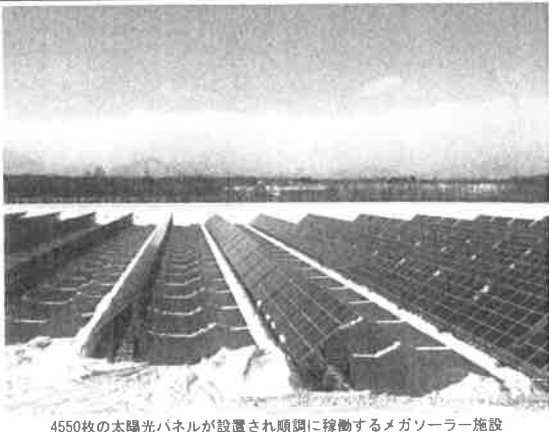
産廃処理や土木資材販売などのティール・ワイ(十勝管内更別村、山内俊男社長)が2月22日に稼働させた大規模太陽光発電所(メガソーラー)が注目を集めている。公共事業削減などで業界が冷え込む中、将来性のある自然エネルギー事業で活路を見いだそうとしている。

十勝管内の業者に発注した。3月2日、3日には台風並みに発達した低気圧で、道東で9人もの犠牲者が出たが、帯広市内でも最大瞬間風速が23メートルを超えた。メガソーラーの施設付近ではさらに強い風が吹いた。パネルが1枚飛ばされた。「全部のネジを点検し、締め付けを強くしました。いい経験になりました」と山内社長は語る。十勝は雪が少ないところだが、今年の積雪は多めで、パネルを少し高めに設置したのもよかったという。

環境省 小型電子機器回収目標 15年度に14万トン

環境、経済産業両省は、4月1日からスタートする携帯電話など使用済みとなった小型電子機器を回収し、貴重な金属を取り出してリサイクルする目標量を2015年度は14万トンとする基本方針案をまとめた。

基本方針案では、このほか、個人情報保護対策として、自治体が携帯電話やパソコンを引き取る際には所有者にデータを消去してもらい、機器を一時保管する回収ボックスを使う場合は施錠を徹底するなどとしている。



4550枚の太陽光パネルが設置され順調に稼働するメガソーラー施設



施設の電気工事作業は地場の専門業者が担当

メガソーラーは順調に稼働しているもので、砂利ブランチを介して、同社が帯広市の中島町東3線に建設し、太陽光パネル4550枚を設置、発電能力は最大1.2メガワットで一般家庭1410戸分に当たり、全量を北電に売電している。総事業費は4億円で、資材購入から施工まで、すべて地場の専門業者が担当している。

建設業山内組の関連会社、メガソーラー建設は土木工事のノウハウが使い、電気工事や除雪も含むメンテナンスで地元業者に仕事を生むなど波及効果がある。同社は今後3年をめどに未利用地を活用した同様の施設を全国に展開する。

測量・調査・一般土木建設施工監理
宅地造成専門業者

MS 円真泰東工業株式会社

代表取締役社長 村上 眞行
本社 札幌市南区川沿13条3丁目4番32-2
TEL 011-572-1122 FAX 011-572-1180
営業所 茅部郡砂原町10番地 TEL 01374-8-2314

札幌リサイクル推進事業協同組合
理事長 村上 眞行
札幌市南区川沿13条3丁目4番32-2 TEL・FAX 011-572-2226

環境にやさしいリサイクルにより
住み良い街づくりに貢献する

札幌リサイクル骨材株式会社

産業廃棄物処分業一廃コンクリート・廃アスファルトのリサイクル・再生砕石販売

代表取締役 菅原 辰雄

札幌市東区中沼町45番地26
電話 (011) 792-4087 FAX (011) 792-4086